



待望の戴帽式

～3年ぶりに保護者、来賓を 迎えての伝統行事～

4月29日、3年ぶりに保護者・来賓の方にご列席いただき、第55回戴帽式が盛大かつ厳かに行われた。

練習時から十分な感染症対策を施すため、連日、さまざまな面で万全の注意を払って準備が進められた。特に、看護教員による戴帽生1人1人へのキャッピングは最も注目が集まる場面ではあるが、直接的な接触があるために生徒ごとの手指消毒を行いながら実施された。壇上や会場の配置も工夫され、間隔を確保するだけでなく、10台以上のサーキュレーターをフル回転して空気の流れを作るなど、万全の体制で実施された。

式終了後には体育館を生徒・保護者の記念写真撮影の場として提供。館内には久しぶりの再会と晴れ姿を喜ぶ戴帽生と保護者との笑顔があふれていた。



～戴帽生代表謝辞～

看護学科基礎課程2年 相馬 悠乃さん(熊本県 錦ヶ丘中出身)



1年前に看護師になるための基礎を学びはじめ、初めて聞く言葉や専門授業の難しさに戸惑ったり、慣れない寮での共同生活や環境の変化に心がおいつかず、涙を流したりしたこともありましたが、この道を選んだことを後悔することなく、強い志を持ってこの日を迎えることができました。それは、小さな心の変化に気づき話を聞いてくれる友人や寮での楽しみ方を教えてくださった先輩方、目指す看護師像をより鮮明なものにしてくださいと先生方、そしていつも見守ってくれる家族の存在のおかげです。現在、コロナ禍で、世界中が大変な混乱の中にいます。目に見えないウイルスとの戦いは容易なものではありません。しかし、そのような中で、患者様の心身のサポートを行う医療従事者の方々をニュースなどで目にするたびに、私たちもいずれその一員になるのだという覚悟や決意は日に日に強くなるばかりです。私たちはまず、この後控えている実習に一生懸命向き合っていき、実りあるものになりたいと思います。

専門課程生、念願の修学旅行へ



高校在学中から延期を重ねていた看護学科専門課程両学年の修学旅行が6月2日から4日、2泊3日の日程で実施された。

やっとの思いで行われた修学旅行は、できる限り生徒の意向が尊重され、自主研修やスポーツ観戦が取り入れられた。2年生は広島県を訪れ、厳島神社での合格祈願にプロ野球広島カープ戦を観戦。名物の焼き牡蠣やもみじまんじゅう、お好み焼きも堪能した。1年生は北海道を訪れ、札幌ドームでパラグアイ戦サッカー国際親善試合を観戦。場外市場で舌鼓を打ち、登別温泉で疲れを癒やした。

もちろん、様々な感染対策も講じられた。出発前には参加者全員が抗原検査を実施し、研修委員を中心に感染対策を徹底。その結果、1人も感染者を出すこともなく旅行を終え、看護学生としての意識の高さを証明した。

また、現地での歓待にも感動した。どこの観光地もコロナ禍で閑散とする中、本校生の訪問は、今後の明るい兆しとなったに違いない。生徒たちは、この貴重な経験を胸に、これから始まる、本格的な実習や国家試験対策合宿などハードな毎日へと挑んでいく。



▲専門課程1年生(札幌ドームにて)



▲専門課程2年生(厳島神社にて)

令和はじめての**体育祭**が開催されました!



6月4日、第58回体育祭が開催された。これまで悪天候での中止や、新型コロナウイルスによる影響での中止が重なり、5年ぶりとなる待望の実施であった。例年、終日かけて行われる体育祭だが、今年度はプログラムの厳選と競技の短縮により、半日の日程で行われた。



雲ひとつない青空の下、生徒たちは仲間と声を掛け合いながらクラス・学年一丸となってどの競技にも全力で取り組んだ。中でも、2・3年生が作り上げたマ스ゲームは、リズムと息が見事に合った圧巻のパフォーマンスとなり、体育祭を大いに盛り上げ、グラウンド中に笑顔が広がった。鳳凰生の持つパワーを改めて感じることでできた“令和はじめての体育祭”であった。



校旗隊、体育祭で活動再開。

鳳凰高校伝統の校旗隊が2年ぶりに活動を再開した。校旗隊とは式典や学校行事の際に校旗の入場を担当する組織で、今回の体育祭で担当したのは3年生9名。体育祭の2週間前から、放課後練習だけでなく、昼休みや寮でも練習を積み重ねた。リーダーの小柳水晶さん(看護学科基礎課程3年 福岡県 思永中出身)は「緊張や疲労で、練習の成果を全て出し切ることができなかった。次は1・2年生に教える立場になるが、後輩たちには毎回の練習に集中し、私たち以上のパフォーマンスをしてほしい」と話した。

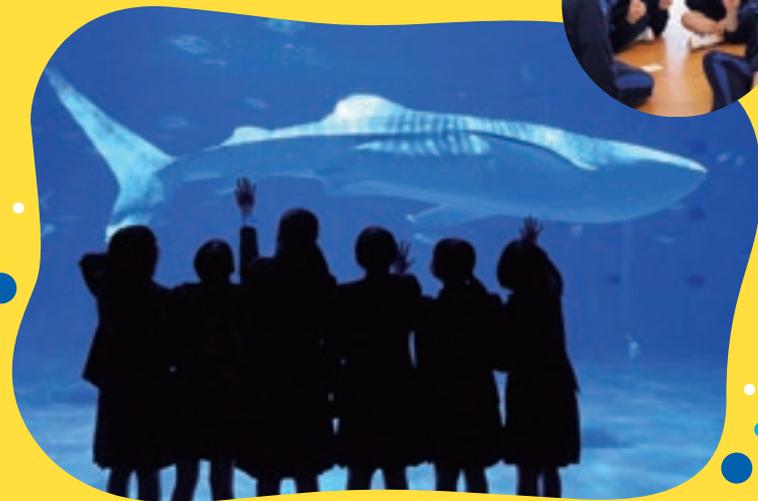


一日遠足が行われました



4月25日、一日遠足が行われた。1年生は吹上海浜公園まで徒歩で向かう予定が、雨天のため校内遠足という形に。各クラスや学科ごとに自己紹介ゲームを行ったりリスポーツを楽しんだり、新入生同士交流を深めた。「それまであまり話したことがなかった人や初対面の人とも会話することができ、楽しい1日になりました」と1年生の酒見采伽さん(普通科特進I類 加世田中出身)は語った。

一方、2・3年生はかごしま水族館へ。本校は県外出身の生徒もたくさん在籍するため、初めてかごしま水族館を訪れた生徒も多く、館内を満喫する楽しそうな様子が見られた。3年生の石原ゆいなさん(メディカルシステム科 加世田中出身)は「タッチプールで普段触れ合うことができない生き物に触れ、イルカショーではイルカの賢さに圧倒されました」と思い出を語った。どの学年も、とびきりの笑顔あふれる1日となった。





令和4年度 鹿児島県高校総体推戴式・部活動激励会

5月13日に「鹿児島県高校総体推戴式」、6月8日に「部活動激励会」が本校体育館で行われた。これは、鹿児島県高校総体やインターハイ・南九州大会(陸上・駅伝)に出場する選手が一同に介し、上位入賞への意気込みを述べるとともに、全校生徒で出場選手を激励する行事である。今年度は3年生のみではあったが3年ぶりにオンラインではなく対面での開催をすることができた。

選手代表挨拶で陸上部副主将の茶園陸さん(看護学科基礎課程2年 天保山中出身)は、「顧問の先生方や先輩方の指導があってここまで来ることができました。悔いの無いよう頑張ります!」と意気込みを述べた。



令和4年度 高校総体県予選 結果

●男子テニス部



【団体戦】**優勝 20連覇**

準決勝：鳳凰 3-0 甲南
決 勝：鳳凰 2-0 鹿児島実業

団体戦・個人戦ともに
**九州総体
インターハイ
出場権獲得**

【個人シングルス】

優勝 河野 隼也(普通科特進Ⅱ類3年)
準優勝 石橋 侑依(普通科特進Ⅱ類2年)
3位 吉武 真輝(普通科特進Ⅱ類1年)
4位 大神 照太(普通科特進Ⅱ類3年)
5位 井上 温仁(普通科特進Ⅱ類1年)

【個人ダブルス】

優勝 南 晴空(普通科特進Ⅱ類3年)
本蘭 慶人(普通科特進Ⅱ類3年)
準優勝 大神 照太(普通科特進Ⅱ類3年)
小田 龍之介(普通科特進Ⅱ類3年)
4位 河野 隼也(普通科特進Ⅱ類3年)
中原 健士郎(普通科特進Ⅱ類3年)

●ソフトテニス部



【団体戦】**ベスト16**

2回戦：鳳凰 3-0 国分
3回戦：鳳凰 0-2 鹿児島実業

【個人戦】

8位 前畑 心柚(総合福祉科1年)
松山 和佳奈(総合福祉科3年)

九州総体出場権獲得

●女子テニス部



【団体戦】**優勝**

準決勝：鳳凰 2-0 鹿児島実業
決 勝：鳳凰 2-0 鹿児島純心

団体戦・個人戦ともに
**九州総体
インターハイ
出場権獲得**

【個人シングルス】

優勝 岡村 凜那(普通科特進Ⅰ類2年)
準優勝 梶原 慈佳(普通科特進Ⅱ類3年)
3位 山田 彩乃(普通科特進Ⅱ類3年)
4位 片山 沙咲(普通科特進Ⅱ類2年)
6位 隈元 にご(普通科特進Ⅱ類1年)
7位 前橋 莉音(普通科特進Ⅱ類2年)
8位 上村 莉遥(看護学科基礎課程3年)

【個人ダブルス】

優勝 梶原 慈佳(普通科特進Ⅱ類3年)
岡村 凜那(普通科特進Ⅱ類2年)
準優勝 片山 沙咲(普通科特進Ⅱ類2年)
前橋 莉音(普通科特進Ⅱ類2年)
4位 梶原 愛佳(普通科特進Ⅱ類3年)
山田 彩乃(普通科特進Ⅱ類3年)

●女子バスケットボール部



【4校リーグ結果】**3位**

① 鳳凰 55 vs 79 鹿児島
② 鳳凰 64 vs 65 れいめい
③ 鳳凰 82 vs 79 神村学園

ベスト5賞

田野尻 風優(普通科特進Ⅰ類3年)

優秀選手賞

加治 芳乃香(メディカルシステム科3年)

●駅伝部



【女子800m】

7位 五反田 絵里香(普通科特進Ⅰ類2年)

【女子1500m】

8位 五反田 絵里香(普通科特進Ⅰ類2年)
10位 宮内 結愛(メディカルシステム科2年)

【女子3000m】

7位 宮内 結愛(メディカルシステム科2年)
14位 二宮 菜々子(普通科特進Ⅰ類3年)

【女子5000mW】

4位 山中 智花(普通科特進Ⅰ類3年)

南九州大会出場権獲得

6位 下前 咲陽佳(総合福祉科3年)
9位 櫻井 ひなた(看護学科基礎課程2年)

【女子4×400mR】

5位 西 莉里奈(メディカルシステム科3年)
浅面 カレン(メディカルシステム科2年)
村永 唯衣(総合福祉科2年)
伊地知 咲蘭(看護学科基礎課程2年)
五反田 絵里香(普通科特進Ⅰ類2年)
宮内 結愛(メディカルシステム科2年)

南九州大会出場権獲得

●女子サッカー部

準優勝

準決勝：鳳凰 1-0 鹿児島女子
決 勝：鳳凰 0-3 神村学園

●剣道部

【男子個人】**ベスト16**

迫田 怜士(普通科特進Ⅰ類1年)

【女子団体】**ベスト8**

2回戦：鳳凰 2-2 鹿実(本数負け)

【女子個人】**ベスト16**

吉永 凜(看護学科基礎課程3年)

優秀選手賞

吉永 凜(看護学科基礎課程3年)

活躍する卒業生



めいふるさん

2017年3月
総合福祉科卒業

【プロフィール】
福祉施設を退職後、現在はイラストレーター兼FMラジオのパーソナリティとして活躍中。今年の6月、フラワーパークかごしまで個展を開いた。



Q、絵を描き出したきっかけは？

母の影響で、小さい頃から絵を描いていました。母は昔からよく絵を描いていて、現在は写真の仕事をしています。そんな母を見て育ったためか、暇があれば絵を描いていました。描いた絵を人にあげると喜んでもらえることが嬉しくて、より多くの人に見てもらいたいと感じるようになりました。高校2年生の頃には初めての個展を開くことができました。

Q、総合福祉科で学んだことは？

会話力です。「怖そう」と思っていた先生が話してみると実はとても優しく良い先生だった経験があります。話してみても分かることがたくさんあるのだと感じました。実習では施設の利用者さんだけでなく、利用者さんのご家族や施設で働く方々など、様々な人と話す機会がありました。相手の会話のペースに合わせることや相手の伝えたいことを聞き取ることを意識するようになりました。高校で培った力は今でも役に立っています。

Q、今後の目標を教えてください。

タレントとして活動し、様々なことを発信していきたいです。もちろん、福祉についても発信していきたいと思っています。同級生の多くはプロとして、福祉の現場に立ち続けています。働く人たちの声を通して、福祉の仕事をあまり知らない人にも興味を持ってもらいたいです。

Q、在校生へ向けて一言お願いします。

何事にも諦めずに取り組んでください。私は高校2年生で初めての個展を開きました。そのときに「諦めなければ高校生でもこんなことができるのだ」と感じました。介護福祉士の国家試験の時も何度も心が折れそうになりました。しかし、クラスの仲間たちと励まし合いながら諦めずに学習に取り組みました。無理だと決めつけず、いろいろなことにチャレンジして充実した高校生活を送ってください。

「砂の祭典」高校生スタッフとして活躍！

毎年ゴールデンウィークに南さつま市で行われる「吹上浜 砂の祭典 in南さつま」。今年は旅をテーマとした砂像が南さつま市各地に作られ、様々なイベントが開催された。本校からは普通科を中心とした約20名が高校生スタッフとして参加。謎解きイベント企画や写真展の企画、フリーペーパーの作成、物品販売の4つの班に分かれて活躍した。

フリーペーパー作成班の飯山芽生さん(普通科文理2年 穎娃中出身)は「他のメンバーの進捗状況を確認しつつ、校正・入稿などのスケジュールを考え、締め切りの設定をするのに苦労した。」と大人顔負けの仕事ぶりを話した。

物品販売班の下野遥愛さん(普通科文理2年 吹上中出身)は「当日の売れ行きから在庫管理をその場で判断することが難しかった。面と向かって値段が高いとお客さんに言われショックを受けることもあれば、一生懸命売り込みをしていたら一度にたくさん商品を買ってくれるお客さんに出会えることもあり、いろいろな方の接客をできたことが良い経験になった」と語った。売り上げは次の活動費用として活用するそうだ。

毎年、数ヶ月ほどかけて準備をすすめている本校の高校生スタッフ。今年も貴重な経験から様々なことを学んだようだ。



検定合格に向けて…

資格取得に力を入れているメディカルシステム科。「検定ラッシュ」と呼ばれる6月は、放課後補習が実施され、教室では教員に見守られながら生徒たちがひたむきに頑張る姿が今年度も見られた。

放課後遅くまで学校に残り、積極的に質問するなど自主的に勉強し、苦しくても「みんな頑張っているから、私も頑張ろう!」と切磋琢磨しながら励む姿はメディカルシステム科の伝統になっている。

3年間のカリキュラムの中で、学科専門の分野はもちろん、商業分野においても多くの検定試験に挑戦し、生徒たちはたくさんの資格取得を目標に日々頑張っている。



メディカルシステム科3年 瀬川 萌さん(穎娃中出身)

検定前は放課後を使い、模擬問題や過去問などたくさんの問題に取り組んでいます。分からないところは、先生方が親身になって教えてくださいるので、これまでも様々な資格を取得することができました。これらの資格は自分の進路に大きく関わってくると思うので、今後もそれぞれの目標に向かって一生懸命頑張りたいです。

